

第2回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨（案）

1. 日時：平成28年12月2日（金）13:00～15:00
2. 場所：日本橋ライフサイエンスビル 1004 会議室
3. 出席者（敬称略）：

歯科基礎医学会（泰羅雅登）、日本歯科保存学会（興地隆史）、日本補綴歯科学会（江草 宏）、日本歯科理工学会（岸田晶夫）、日本口腔インプラント学会（古谷野 潔）、日本臨床口腔病理学会（井上 孝）、日本接着歯学会（西山雄一郎）、日本レーザー歯学会（市村 葉）、日本歯科心身医学会（小池一喜）、日本歯内療法学会（五十嵐 勝）、日本顎変形症学会（片桐 渉）、日本顎顔面補綴学会（米原啓之）、日本外傷歯学会（宮新美智世）、日本口腔科学会（丹沢秀樹）、日本再生歯科医学会（今井弘一）、バイオインテグレーション学会（高橋雄三）、日本口腔顎顔面痛学会（小見山道）、東京形成歯科研究会（奥寺 元）、日本歯科医学会（井上 孝）、日本再生医療学会（大島勇人、江副幸子、古川和親、眞野恭輔、渡部さやか）、三井住友海上火災保険株式会社（大橋翔史）

欠席（日本口腔外科学会、日本歯科医史学会、日本歯科医療管理学会、日本歯科薬物療法学会、日本小児口腔外科学会、日本顎顔面インプラント学会、日本口腔腫瘍学会、日本有病者歯科医療学会）

未回答（日本歯周病学会、日本口腔感染症学会、日本口腔リハビリテーション学会）

4. 報告事項

- 1) 大島勇人理事（日本再生医療学会）より、資料1に基づき、「第1回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨」について説明があり、了承された。
- 2) 大島勇人理事より、資料2に基づき、「参加学会について：29学会・団体（日本歯科医学会、日本再生医療学会を除く）」について説明があり、担当者の決まっていない学会について確認するよう依頼があった。尚、日本歯科医学会については、オブザーバーという位置づけとなっている。
- 3) 大島勇人理事より、第16回日本再生医療学会総会におけるシンポジウムについて（2017年3月8日（水）（AM）予定）、他シンポジウムとの重複により演者の変更があったことが報告された。

テーマ：歯科再生医療推進ネットワーク協議会の立ち上げと歯科再生医療の今後の展開

座長：中島美砂子（国立長寿医療研究センター）

大島勇人（新潟大学、日本再生医療学会理事）

歯科再生医療推進ネットワーク協議会立ち上げの経緯について（仮題）

大島 勇人（新潟大学、日本再生医療学会）

日本歯科医学会と歯科再生医療推進ネットワーク協議会の連携について（仮題）

井上 孝（東京歯科大学、日本歯科医学会）

ヒト歯髄からのiPS細胞誘導と歯科再生医療の今後の展開（仮題）

柴田 敏之（岐阜大学、口腔外科学会）

歯周組織再生の今後の展開（仮題）

栗原 英見（広島大学、日本歯周病学会）

再生医療の補綴歯科治療への展開（仮題）

江草 宏（東北大学、日本歯科補綴学会）

インプラントによる顎口腔機能回復と骨再生の今後の展開（仮題）

朝比奈 泉（長崎大学、日本口腔インプラント学会）

- 4) 古川和親シニアアドミニストレイティブサービスオフィサー（日本再生医療学会）より、資料5に基づき「再生医療等『治療』賠償補償制度」について説明があり、引き続き大橋翔史氏（三井住友海上火災保険株式会社）より補足説明があった。保険及び日本再生医療学会への募集・勧誘ではなく、歯科関連学会の先生方をバックアップする制度の紹介・案内であるとの説明がなされた。出席者から「PRP療法を槍玉に挙げる広告はいかがなものか」という意見が出され、広告の見直しを検討するとの返事があった。
- 5) 眞野恭輔事務局長（日本再生医療学会）より、資料4に基づき、「再生医療等臨床研究促進基盤事業（ナショナルコンソーシアム）」について説明があった。
- 6) 江副幸子理事長補佐（日本再生医療学会）より、資料3に基づき、「日本再生医療学会認定制度（再生医療認定医・臨床培養士）」について説明があった。

5. 協議事項

1) 今後の活動について

歯科再生医療推進ネットワーク協議会は、「歯科再生医療を推進すること」を共通の目的とすることとし、今後は定期的開催される協議会で情報の共有化と問題点の検討をすることが確認された。今後の具体的な活動について、第16回日本再生医療学会総会におけるシンポジウムを開催することが決まっているが、それ以外のことについては、大島勇人理事より、協議会からのメッセージを日本再生医療学会仙台宣言に含めること、ホームページの立ち上げ、歯科再生医療の臨床実績データの収集と情報発信等の案が提示されたが、今後の協議会で引き続き検討していくことが了承された。また、出席者より、「主体が日本再生医療学会なのか歯科関連学会なのかはっきりしない」「会則を作成した方が良い」との指摘があった。日本再生医療学会は情報提供のリソースであり、本協議会が主体的となり議論を進めて行きたいこと、会則作成を検討するとの説明があった。

以上
(文責 大島勇人)